

第51週（令和元年12月16日から12月22日まで）の集計結果

【八王子市内の今週の傾向】

○インフルエンザは、小児科定点あたり40.1人（先週：第50週 定点あたり29.6人）、インフルエンザ定点あたり33.8人（先週：第50週 定点あたり24.3人）と、双方とも大幅に増加し、いずれも警報レベル（開始基準値：定点あたり30.0人）になりました。感染経路は接触・飛沫感染です。

○感染性胃腸炎は、定点あたり13.7人で、先週（第50週 定点あたり12.9人）より増加しました。感染経路は、経口・飛沫感染です。

○水痘は、定点あたり1.0人で、先週（第50週 定点あたり1.8人）よりやや減少しましたが、注意報レベル（開始基準値：定点あたり1.0人）が続いています。感染経路は空気・飛沫・接触感染です。

○A群溶血性連鎖球菌は、定点あたり5.1人で、先週（第50週 定点あたり6.1人）より減少しました。感染経路は接触・飛沫感染です。

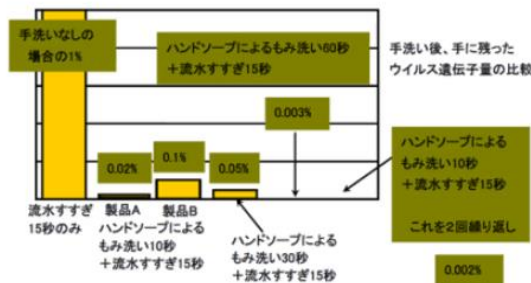
○手足口病は、定点あたり3.3人で、先週（第50週 定点あたり5.3人）より減少しましたが、警報レベル（終息基準値：定点あたり2.0人）が続いています。感染経路は経口・飛沫・接触感染です。予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。

☆家庭、通園通学先、職場等で、手洗い、咳エチケット、排泄物・吐物の適切な取り扱い（消毒）等を励行し、感染の拡大を防止しましょう。

○効果的な手洗いの方法

「石けんを充分泡立てた後すぐ」を2回繰り返すと効果的です。

手洗いの効果



出典元：東京都健康安全研究センター「ノロウイルス対策緊急タスクフォース」

- ・第50週：12月9日から12月15日まで
- ・第51週：12月16日から12月22日まで
- ・小児科定点：八王子市内 小児科14ヶ所 都内 264ヶ所
- ・インフルエンザ定点：八王子市内 小児科11ヶ所、内科7ヶ所
- ・東京都基幹及び小児科病原体定点医療機関：都内43ヶ所

【東京都の感染症発生状況】

○現在、東京都ではインフルエンザ、麻しん、風しん、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎、水痘の感染症に注意が必要です。

■東京都感染症情報センター

・「東京都の感染症発生状況」

http://fdsc.tokyo-eiken.go.jp/international_ja/

○インフルエンザが注意報レベルになりました。

■東京都感染症情報センター

・「東京都インフルエンザ情報 第10号」

<http://fdsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/flu/2019/Vol22No10.pdf>

・「インフルエンザの流行状況」

<http://fdsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/flu/flu/>

○水痘の報告数が増加しています。

■東京都感染症情報センター

・「水痘の流行状況」

<http://fdsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/chickenpox/chickenpox/>

○A群溶血性連鎖球菌咽頭炎の報告数が増加しています。

■東京都感染症情報センター

・「A群溶血性連鎖球菌咽頭炎の流行状況」

<http://fdsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/group-a/group-a/>

○都内では、麻しんの届出が2019年1月から12月15日までに124件ありました。麻しんに注意しましょう。

■東京都感染症情報センター

・「感染症ひとくち情報 麻しんに注意しましょう！」

<http://fdsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/measles/hitokuchi-joho.pdf?20191003>

・「麻しんの流行状況」

<http://fdsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/measles/measles/>

○海外では、日本と気候や衛生環境が異なるため、年末年始の海外旅行等の際には感染症に注意しましょう。

■「海外旅行者・帰国者のための感染症予防ガイド」（東京都感染症対策課）

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryokansen/yoboguide.html>

■「海外渡航者向けポスター・リーフレット」（厚生労働省）

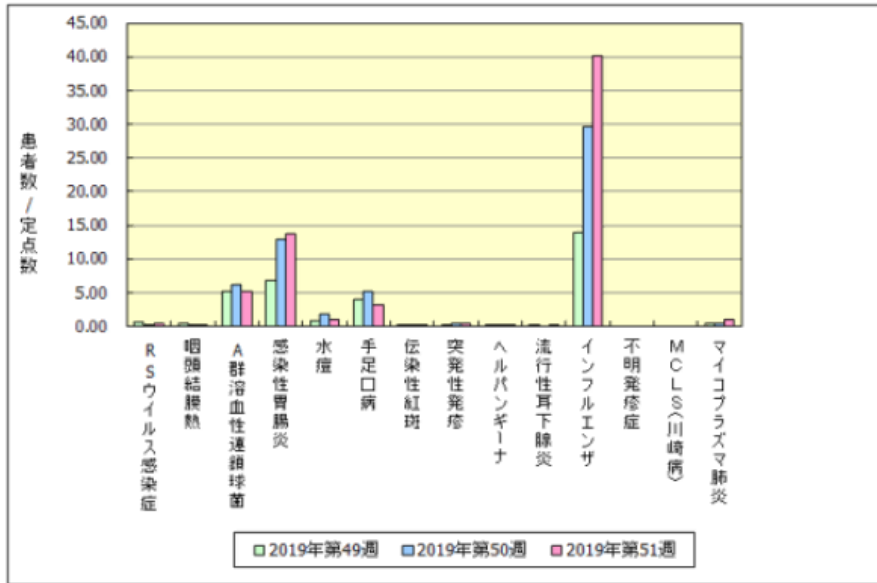
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html

■「海外へ渡航される皆さまへ！」（厚生労働省検疫所 FORTH）

<https://www.forth.go.jp/news/20190409.html>

第51週（令和元年12月16日から12月15日まで）の発生状況

感染症法の施行規則の改正に伴い、百日咳は平成30年1月1日から報告方法が変わり、全数報告疾患となったため、発生状況については、[風しん・麻疹・百日咳発生状況](#)をご覧ください。



第51週疾患毎発生状況グラフ

	2019年 第46週	2019年 第47週	2019年 第48週	2019年 第49週	2019年 第50週	2019年 第51週	第1週からの 合計
RSウイルス感染症	6→	5↓	5→	8↑	3↓	5↑	555
咽頭結膜熱	7→	3↓	7↑	7→	3↓	4↑	271
A群溶血性連鎖球菌	57↑	58↑	80↑	73↓	86↑	72↓	1,933
感染性胃腸炎	78↓	82↑	106↑	94↓	180↑	192↑	5,549
水痘	7→	6↓	9↑	12↑	25↑	14↓	404
手足口病	36↓	44↑	68↑	55↓	74↑	46↓	2,400
伝染性紅斑	2→	1↓	3↑	4↑	4→	4→	480
突発性発疹	8↑	4↓	8↑	2↓	6↑	7↑	257
ヘルパンギーナ	1↓	1→	1→	4↑	1↓	2↑	837
流行性耳下腺炎	0→	1↑	3↑	1↓	0↓	1↑	88
インフルエンザ	15↑	23↑	111↑	194↑	415↑	562↑	8,384
不明発疹症	2↑	0↓	2↑	0↓	0→	0→	22
MCLS(川崎病)	1↑	0↓	0→	0→	0→	0→	4
マイコプラズマ肺炎	9↑	3↓	2↓	6↑	5↓	14↑	99

第51週疾患毎発生状況表

第51週	RS ウイルス	咽 頭 結 膜 熱	連 鎖 球 菌	A 群 溶 血 性	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 疹	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	イン フル エ ン ザ	不 明 発 疹 症	(川 崎 病) M C L S	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎
～5ヶ月	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
～11ヶ月	2	0	0	13	0	0	0	3	0	0	0	4	0	0	0
1歳	1	2	0	20	0	13	2	3	0	0	0	20	0	0	0
2歳	1	1	3	15	0	8	0	1	0	0	0	15	0	0	2
3歳	0	0	7	31	1	10	1	0	1	0	0	22	0	0	0
4歳	0	1	8	24	2	5	0	0	1	0	0	27	0	0	0
5歳	0	0	17	22	1	3	0	0	0	0	0	42	0	0	2
6歳	0	0	11	11	4	1	0	0	0	0	0	48	0	0	2
7歳	0	0	6	5	1	4	0	0	0	1	0	78	0	0	3
8歳	0	0	11	9	1	2	0	0	0	0	0	66	0	0	0
9歳	0	0	7	10	2	0	0	0	0	0	0	49	0	0	2
10～14歳	0	0	2	17	2	0	1	0	0	0	0	124	0	0	3
10～12歳												109			
13～14歳												15			
15～19歳	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0
20歳以上	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	45	0	0	0
合計	5	4	72	192	14	46	4	7	2	1	1	562	0	0	14

第51週年齢別発生状況表